

会話が不自由なお客様が非常電話をお使いになるには

事故や故障などが発生したら、**非常電話の受話器を上げて下さい。**
弊社の道路管制センターへつながります。

故障・事故・救急・火災の状況を表示したボタンが設置されている非常電話では、**あてはまるボタンを押してください。**お客様の電話をかけたおよその位置及び通報の種類がわかります。

ボタンを押すと、押したボタンの横にあるランプが点灯します。**道路管制センターにつながったら、「通話」ランプが点灯します。**

ボタンの設置されていない非常電話についても、**非常電話の受話器を上げただけでお客様が電話をかけたおよその位置がわかります**のでご安心ください。

受話器を上げると、道路管制センターの係員が応答いたします。
以下の方法で状況をお知らせいただければ、情報板の点灯により後続車に危険防止等の注意喚起を促すなど、より適切な対応ができるようになります。

(可能な場合だけで結構です)

係員の話聞くことができるお客様は、こちらからの質問に対して、**受話器を叩くなどの合図でお返事ください。**

係員に対してお話できるお客様は、受話器を上げてしばらくたってから、一方的で構いませんので、**わかる範囲の情報**(何が起こったのか、けが人の有無、車が車線上にあって危険かどうか等)**をお話ください。**

係員の話聞く事と係員に対するお話の両方が困難なお客様は、受話器を上げてから、**受話器を叩くなどの合図**で緊急事態の発生をお知らせください。

緊急対応が必要と判断される場合には、道路管制センターの指示により交通管理隊(高速道路のパトロールを行っている者)が現地に急行します。